

シネラ



現代韓国エンターテインメント映画

収蔵作品特集

ますます加熱する韓流ブーム。ラブストーリーから
SFXアクションまで、韓国映画の魅力を堪能する

ボリウルの夏

収蔵作品特集

モンゴル映画特集

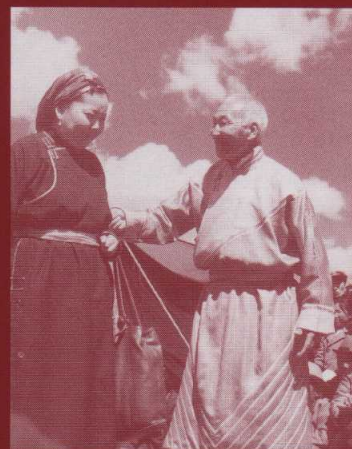
広大な草原と疾走する馬。モンゴル映画を特集上映



炭鉱に生きる



ゴビの聖者



新文字先生

特別企画

炭鉱に生きる

筑豊の炭鉱で生きた人々をテーマとした
ドキュメンタリー映画

あけましておめでとう



現代韓国エンターテインメント映画

ますます加熱する韓流ブーム。ラブストーリーからSFXアクションまで、図書館収蔵作品から幅広い作品をセレクト、韓国映画の魅力を堪能する。

1月5日(木)～15日(日) * 休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

* 定員制・各回入替制 * チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。
(手帳の提示が必要です。)

ポリウルの夏

飛天舞

灼熱の屋上 A Hot Roof

• 1月 6日(金) 14:00
• 1月14日(土) 14:00



1995年/35ミリ
カラー/110分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：イ・ミニョン
出演：ハ・ユミ
チョン・ソンギョン

記録的な猛暑のある夏の日。長年男達の横暴に耐えてきた女達は、主婦を暴行する男をみんなで殺害し、マンションの屋上に立てこもる。そして女性の境遇の改善を訴えるのだった。韓国の女性パワー溢れるコメディ映画で、ハワイ映画祭グランプリなど国際的に高く評価された。

八月のクリスマス Christmas in August

• 1月5日(木) 14:00
• 1月9日(月・祝) 14:00



1998年/35ミリ
カラー/97分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：ホ・ジノ
出演：ハン・ソッキュ
シム・ウナ

日本でもリメイクされロードショーされた韓国映画のラブストーリーの傑作。死の病を抱えながら、愛する女性にそれを伝えられない主人公の悲しさが胸につきささる。主演のハン・ソッキュは当時的大スターで、ヒロインのシム・ウナは本作がデビュー。その清楚な魅力が世界中の男性を虜にした。

ミステリー・オブ・ザ・キューブ The Mystery of the Cube

• 1月 6日(金) 19:00
• 1月14日(土) 11:00



1999年/35ミリ
カラー/105分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：ジョナサン・ユー
出演：イ・ミヌ、シン・ウンギョン

韓国に戦前に実在した詩人イ・サン。彼の残した謎の詩を巡って大学生や記者などの愛好者たちが小説を執筆しようとする。ところが仲間が次々に謎の死を遂げていく。残ったメンバーは謎を解き明かすべく、政府の極秘情報を入手しようとする。サスペンスホラーのタッチで描かれた娯楽作品。

春香伝 Chunhyang

• 1月 7日(土) 14:00
• 1月15日(日) 11:00



2000年/35ミリ
カラー/121分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：イム・グォンテク
出演：チョ・スンウ
イ・ヒョンジョン

李朝時代、地方を治める郡守の息子モンニョンと、貧しい娘チュンヤンとの身分を越えた純愛を描いた作品。原作は韓国では知らぬ者はないと言われるほどの愛の古典で、本作はパンソリの語りに沿って物語が展開するという独特の手法が用いられている。まるで韓国版のミュージカルのようである。

吠える犬は噛まない Barking Dogs Never Bite

• 1月 7日(土) 11:00
• 1月12日(木) 14:00



2000年/35ミリ
カラー/110分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：ボン・ジュノ
出演：イ・ソンジェ、ペ・ドゥナ

大学でうだつの上からない非常勤講師をしているユンジュは、犬が嫌いでもマンション内の犬を次々に殺していく。ところが彼の妊娠中の妻が突然犬を買ってきたために、彼は犬の世話をさせられる。とぼけた味わい、不思議な感覚の作品で、軽いタッチのコメディ映画である。

飛天舞 Bichunmoo

(劇場公開題 アウトライブ 飛天舞)

• 1月 8日(日) 14:00
• 1月14日(土) 17:00

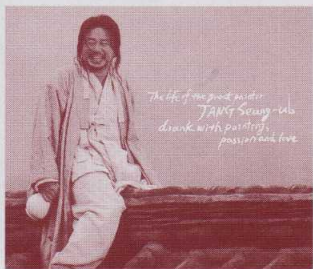


2000年/35ミリ
カラー/118分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：キム・ヨンジュン
出演：シン・ヒョンジュン
キム・ヒソン

元朝末期、元の將軍の妾の子ソルリと山奥で剣の修行を続けるジナがいた。モンゴル族、漢民族、そして高麗民族の三つの勢力が入り交じり、秘伝書を巡って展開される奇想天外なアクション映画。韓国で大人気の漫画を原作としており、香港のスタッフを招いて制作されたワイヤーアクションを駆使した特撮シーンは見物である。

酔画仙 Chihwaseon

• 1月 7日(土) 17:00
• 1月15日(日) 14:00



2002年/35ミリ
カラー/117分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：イム・グォンテク
出演：チェ・ミンシク
アン・ソンギ

1850年代、李朝末期に実在した天才画家チャン・スンオプの波乱に富んだ人生を描いた作品。権力に媚びず酒と女と旅を愛した孤高の画家をチェ・ミンシクが見事に演じる。韓国映画で初めてカンヌ映画祭監督賞に輝いた傑作。*18才未満の方は鑑賞できません。

ポリウルの夏 Season in the Sun

• 1月 8日(日) 11:00
• 1月13日(金) 14:00



2003年/35ミリ
カラー/102分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：イ・ミニョン
出演：チャ・インビョ
チャン・ミヒ

ある夏の日、田舎の村ポリウルに青年キムと少年ヒョンウがやってくる。キムは村の教会の新しい神父として、ヒョンウは村の寺の住職であるウナムを訪ねてきたのだ。村には子供達のサッカーチームがあるのだが、弱くて街のチームに馬鹿にされていた。大学でサッカーをやっていたキムはコーチとして、村のチームを強くしようとする。

もし、あなたなら If you were Me

• 1月 9日(月・祝) 11:00
• 1月13日(金) 19:00



2003年/35ミリ
カラー/110分/韓国
日本語・英語字幕付き
監督：バク・クァンス
ヨ・ギョンドン、
チョン・ジェウン、イム・スルレ
バク・ジンピョ、バク・チャヌク
出演：キム・ムンジュ
ベク・ジョンハク

本作は韓国政府が設立した国立人権委員会が製作した作品で、人権意識の啓発を目的としたものである。但し通常の人権啓発映画と異なりユニークなのは、6人の劇映画の監督達が選ばれ、監督達が興味を持つテーマで自由に制作されたオムニバス映画となっている点で、各監督達の作品個性の違いが浮き出ている。

モンゴル映画特集

広大な草原と疾走する馬。
モンゴル映画の魅力を、図書館収蔵作品から特集。

1月18日(水)～22日(日)

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制 *チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

新文字先生

The Teacher of Cyril Alphabet

おすすめ



1998年/ビデオ/カラー/109分/モンゴル/日本語・英語字幕付き
監督:B.パダルオーガン 出演:B.ガルディ、D.フルレー

•1月19日(木)14:00
•1月21日(土)14:00

モンゴル映画には珍しい微笑ましいコメディ映画を今回はご紹介します。モンゴルでは元々日本語のような縦書きのモンゴル文字を使用していました。ところが1940年代以降、モンゴルの社会主義政権へのソビエトの影響が強まり、キリル文字(ロシア文字)を公用語として採用します。ところが一般の人は当然キリル文字は話せません。この映画の舞台となる田舎の村でも誰もキリル文字が分からず、だだ一人町の学校に通っている小学生のトルガーだけがキリル文字を読めたのです。そこで村長は夏休みに村に帰ってきたトルガーに、村人のキリル文字の先生になってくれるように頼むのです。お年寄りから自分の母親まで、大人達を前に先生となったトルガーですが、大人達はなかなかトルガーの言うことを聞きません。家畜の世話か忙しいと勉強をさぼったり、文句をいったりで、子供が大人をしかるという普通の学校とは立場が逆転したような現象が起こります。また女性にラブレターの代筆を頼まれたりとトルガーは大人です。小学生が大人に文字を教えるということは40年代から50年代に実際あったことで、実話を基にした物語ですが、明るく楽しい作品に仕上がっています。

ゴビの聖者

Ferocious Saint Lord of Gobi

•1月18日(水)14:00
•1月21日(土)11:00



1998年/35ミリ
カラー/106分
モンゴル
日本語・英語字幕付き
監督:I.ニャムガワ
出演:D.ソノルバラム
N.ドルゴル

19世紀モンゴルに実在した活仏アラブジャー・ホトグトの生涯を描いた作品。チベット仏教赤帽派の指導者として、また芸術家として彼がモンゴル文化に与えた影響は計り知れない。映画には彼の詩や音楽が使用されており、広大なモンゴルの大地に引き込まれるような作品。

愛のさだめ

Alaunii Hee

•1月19日(木)19:00
•1月21日(土)17:00



2000年/35ミリ
モノクロ/77分
モンゴル
日本語・英語字幕付き
監督:J.ビンデル
出演:Ts.トゥムルバートル
I.オドンチメグ

遊牧民チョローンには出産を控えた妻のヤンジンと二人の子供がいた。赤ん坊は無事に生まれたが、妻は精神に異常をきたしてしまう。妻を都会の医者に診せるためにチョローンは妻と子供、数十頭の羊をつれて数十キロかなたの街を目指すのだった。チョローンの妻への優しさが溢れる作品。

山の蒼い影

The Shadow

•1月20日(金)14:00
•1月22日(日)11:00



2000年/ビデオ
カラー/80分
モンゴル
日本語・英語字幕付き
監督:B.パダルオーガン
出演:S.ソルボート
J.アマルザヤ

1960年代、社会主義政策がとられていたモンゴルでは、草原を農地として切り開く農業化運動が展開されていた。ヤンジマーは女性だが、トラクター運転手に志願するのだった。その他気は荒いが責任感の強いガンバトなど、力強く農地を切り開く若者達の姿が描かれる。

心の言葉

Words from the Heart

•1月20日(金)19:00
•1月22日(日)14:00



2001年/ビデオ
カラー/96分
モンゴル
日本語・英語字幕付き
監督:D.バトウルズィー
出演:D.トゥムルバートル
S.サランヤール

1939年、モンゴルは日本とハルハ河戦争(ノモンハン事件)を戦っていた。ヒシゲの夫のデレグは戦争に兵士として参加し、もう7年も帰っていないかった。そんな時軍からデレグの死亡の通知が来る。ところがデレグは生きており、瀕死の彼を救った女性と結婚し、新しい妻をつれて帰郷してくるのだった。

特別企画

炭鉱に生きる

筑豊の炭鉱で生きた人々をテーマとしたドキュメンタリー映画「炭鉱に生きる」を上映。

1月28日(土)

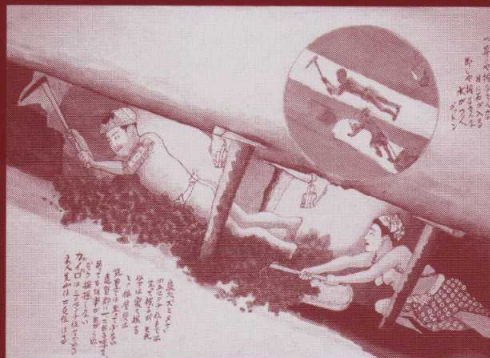
*作品解説(14時上映のみ)

観覧料:600円(大人)500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

主催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会
九州大学記録資料館

•1月28日(土)11:00
•1月28日(土)14:00

*14時の上映の前に九州大学記録資料館
三輪宗弘教授による作品解説があります。



2004年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/70分
監督:萩原吉弘 企画:田中直樹、小松原時夫
監修:深町純亮、田中直樹

山本作兵衛、明治25年に生まれた彼は明治から昭和にかけて筑豊の炭鉱夫として生きた。しかし彼は炭鉱夫の傍ら、自分の経験を描いた数百枚の炭鉱絵画を残したのだ。その独特の画風は炭鉱の世界を緻密に描写した絵画として、また絵画に書かれた彼の生活の記録は炭鉱夫の日常を詩情豊かに表したものと高く評価された。本作は山本作兵衛の絵を元として、筑豊の炭鉱に生きた鉱夫達の証言をおりまぜながら、炭鉱の世界を活写していく。それは生命の危機を常に感じながらも、運命共同体のように寄り添いながらくらしていた炭鉱夫とその家族の力強い生活の記録なのである。

*定員制・各回入替制
*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は300円。
(手帳の提示が必要です。)

2005 12月

28 水
...
4 水

年末年始の休館日

現代韓国エンターテインメント映画

5 木	[14:00] 八月のクリスマス	
6 金	[14:00] 灼熱の屋上	[19:00] ミステリー・オブ・ザ・キューブ
7 土	[11:00] 吠える犬は噛まない	[14:00] 春香伝
8 日	[11:00] ポリウルの夏	[14:00] 飛天舞
9 月(祝)	[11:00] もし、あなたなら	[14:00] 八月のクリスマス
10 火	休館日	
11 水	休映日	
12 木	[14:00] 吠える犬は噛まない	
13 金	[14:00] ポリウルの夏	[19:00] もし、あなたなら
14 土	[11:00] ミステリー・オブ・ザ・キューブ	[14:00] 灼熱の屋上
15 日	[11:00] 春香伝	[14:00] 酔画仙



ポリウルの夏



吠える犬は噛まない



春香伝



愛のさだめ

16 月	休館日	
17 火	休映日	
18 水	[14:00] ゴビの聖者	
19 木	[14:00] 新文字先生	[19:00] 愛のさだめ
20 金	[14:00] 山の蒼い影	[19:00] 心の言葉
21 土	[11:00] ゴビの聖者	[14:00] 新文字先生
22 日	[11:00] 山の蒼い影	[14:00] 心の言葉



新文字先生

23 月	休館日
24 火	休映日
25 水	休映日
26 木	休映日
27 金	休映日

28 土	[11:00] 炭鉱に生きる	[14:00] 炭鉱に生きる
29 日	自主上映 [福岡映画サークル2006年第1回例会]	



炭鉱に生きる

30 月	休館日
31 火	休館日

I N F O R M A T I O N

■ ホームページ「うえぶシネラ」を開設しました。

今月の特集記事や、上映案内など、映像ホール・シネラの情報を掲載しているほか、シネラニュースもダウンロードできます。また、メールマガジンの会員も募集しています。是非、ご覧ください。

●うえぶシネラ アドレス <http://www.cinela.com>

■ 自主上映のお知らせ

1月29日(日) 福岡映画サークル2006年第1回例会

●天上草原 [13:00] [15:30]

観覧料/前売り:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円

主催/福岡映画サークル協議会 (TEL 092-781-2817)

*詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 交通アクセス

当館の駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：*天神→都市高速経由→福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分) *博多駅→都市高速経由→福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092 (852) 0600
映像資料課 092 (852) 0608
FAX 092 (852) 0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>

次号
予告寄贈・寄託作品特集
アーカイブの至宝

開館以来、寄贈・寄託で受け入れた映画作品から他では見られない貴重な作品を上映

2月22日(水)～26日(日)

●上映作品
「バグダッド姫」
「海魔陸に行く」
ほか4本

募集
応募

なまえほしいな...

シネラニュース6月号から登場したのだけれど
まだ、名前がありません。

親しみやすい名前を考えてね。

- 応募方法 — 官製はがき又は映像ホール・シネラに備え付けの用紙
- 記入事項 — キャラクターの名前と名前の簡単な説明、郵便番号、住所、氏名、年齢
*応募点数制限なし、ただし一枚につき一点
- 賞 — ベストネーム賞一点 映像ホール・シネラ1年間有効パス券
シネラ賞二点 映像ホール・シネラ御招待券10枚(半年間有効)
*同名者複数の場合、抽選
- 応募期間 — 12月1日(木)～1月15日(日)(必着)
- 主催 — 福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会
- 発表 — 入賞者に通知、シネラニュース、ホームページ「うえぶシネラ」に掲載
- 送り先 — 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
FAX 092-852-0609/メール namae@cinela.com
福岡市総合図書館映像資料課

*記入事項については、当募集にのみ利用いたします。